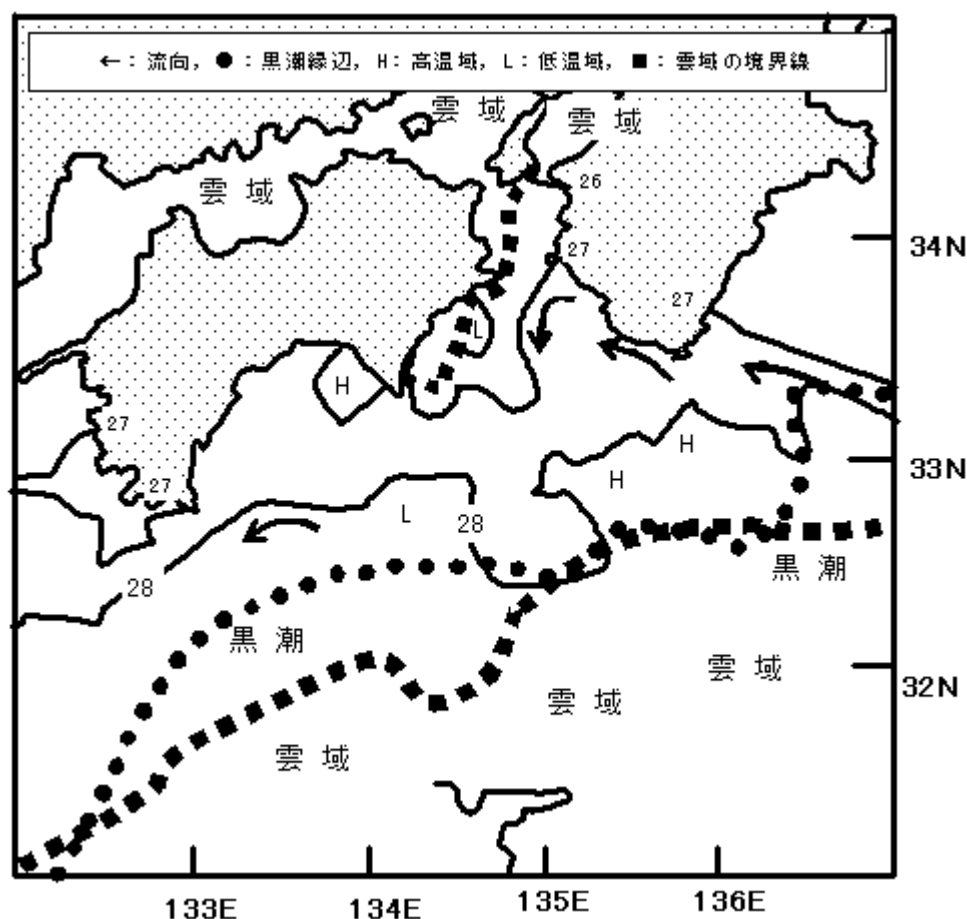


[前週の情報](#) ← → [翌週の情報](#)

10月は「全国漁船安全操業推進月間」です。海中転落事故から命を守るために

- ◇ ライフジャケットは常時着用し、防水の携帯電話も身につけましょう。
- ◇ できる限り集団操業を心がけましょう。
- ◇ 自動停止装置、船上に戻るハシゴなどの設置を進めましょう。

### 1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.10.5)を示した。

黒潮は10月5日頃から室戸岬沖、潮岬沖とも離岸している。黒潮本流の表面水温は28～29℃台である。

表面水温は播磨灘と紀伊水道内部の一部の範囲が雲のため詳細は不明、その他の範囲の紀伊水道内部は26℃台、外域は27℃台である。潮岬沖の黒潮から27℃台の黒潮系水が紀伊水道外域に流入している。

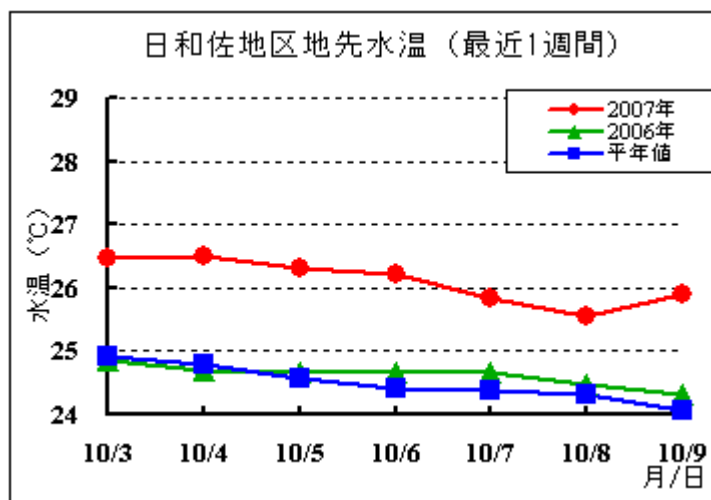
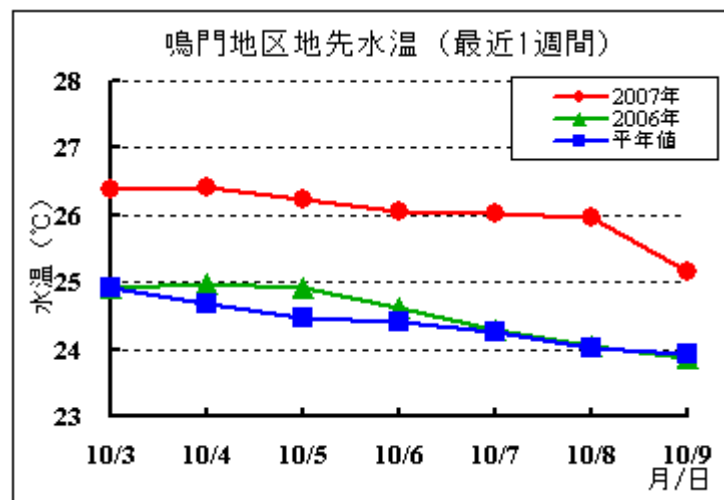
漁業調査船「とくしま」が10月1、3、4日に行った紀伊水道海区の海洋観測結果では、水温は表層～30m層で「高め」の26.1℃～25.8℃、50m層で「やや高め」の24.3℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2007/10/01、03、04)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	26.1	26.0	26.0	25.8	24.3	今年値	32.8	33.1	33.4	33.7	34.1
平年偏差	2.1	1.9	1.8	1.6	0.8	平年偏差	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1
前年偏差	1.9	1.8	1.6	1.4	-0.4	前年偏差	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3

## 地先水温

最近1週間の地先水温は、各地区とも「やや高め」～「高め」であり、鳴門地区は25.2～26.4℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の25.6℃～26.5℃、牟岐地区は25.4～26.4℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**小型定置網:**海部沿岸で、かます類が2.0トン(1日1隻あたり149kg)、小主体にマアジが5.2トン(同469kg)、小小主体にマサバが1.6トン(同406kg)、マルソウダが1.2トン(同133kg)水揚げされた。

**建網:**海部沿岸で、カワハギが0.3トン(同34kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、タチウオが4.5トン(同65kg)、小主体にヨコワが2.2トン(同62kg)、シイラが1.0トン(同57kg)、紀伊水道で中主体にサワラが0.5トン(同54kg)、タチウオが0.4トン(同39kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが4.1トン(同125kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 10月01日～10月07日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	かます類	13	1,937	149	
		マアジ	11	5,162	469	小主体
		マサバ	4	1,624	406	小小主体
		マルソウダ	9	1,198	133	
建網	海部沿岸	カワハギ	11	372	34	
釣り	海部沿岸	タチウオ	70	4,542	65	
		ヨコワ	36	2,237	62	小主体
		シイラ	17	971	57	
釣り	紀伊水道	サワラ	10	542	54	中主体
		タチウオ	9	349	39	
パッチ網	紀伊水道	シラス	33	4,125	125	

### 特異事項:

紀伊水道でのクラゲの出現は少なくなった。

### 週間予報:

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともに離岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の23～24℃台、日和佐地先で「やや高め」の24～25℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが4.1トン(1日1隻あたり17kg)、タチウオが3.3トン(同14kg)、イサキが1.9トン(同8kg)水揚げされた。船びき網でシラスが2.4トン(同50kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが5.5トン、サバ類が8.5トン、ウルメイワシが1.5トン、かます類が5.7トン水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上